

ニホンイシガメ



■見分け方

- 甲らの尻側の縁がギザギザになっている。
- オスは 12cm、メスは 20cm ぐらいまで成長する。



クサガメ



■見分け方

- 甲らの3本の盛り上がったすじがある。
- オスは20cm、メスは25cm ぐらいまで成長する。



ニホンスッポン



※危険なので触らないでください。

■見分け方

○鼻先がとがっている。

○オス・メスともに 30cm ぐらいまで成長する。35cm を超え、7kg に達するものもいる。



ミシシippアカミミガメ



■見分け方

- 首や足に黄色いしま模様がある。
- オスは 20cm、メスは 28cm ぐらいまで成長する。



■侵入の経緯と現在の生息状況

ミシシippアカミミガメは1950年代後半にペットとして輸入され、以来「ミドリガメ」の名称で販売されている。簡単に入手でき、小さいうちは飼育が容易であるが、長生きする上に、成長すると攻撃的になることがあるため、捨てられることが多い。特に1975年には、人へのサルモネラ菌の感染例が報道されたことから、多くの個体が捨てられた。現在では、日本各地で定着が進んでおり、すでに国内で最も普通に見られるカメとなっている。県内でも、平野部を中心に広い範囲で生息が確認されている。

■外来種としての問題点

河川や池に高い密度で生息し、在来のカメとエサや日光浴の場所などが重なっている。このため、ミシシippアカミミガメがいる場所では、在来のカメや植物、魚類、両生類、甲殻類など、さまざまな生物に大きな影響を及ぼしている。

■その他

アカミミガメとして愛知県の条例公表種、国の要注意外来生物に選定されている。

参考文献

日本自然保護協会. 2013. 自然しらべ 2013 マニュアル 日本のカメさがし！－身近な生きものから見えてくる生物多様性－. 日本自然保護協会.

矢部隆. 2012. ミシシippアカミミガメ. STOP!移入種 守ろう！あいちの生態系～愛知県移入種対策ハンドブック～. 愛知県.

文責：矢部隆